

2022 年 3 月 25 日
在グアテマラ日本国大使館

公開情報のとりまとめは以下の通り。

1 内政

（１）サンドバル検察庁無処分問題対策専門局（FECI）長の更迭

23日、ポラス検事総長は検察庁の機能への妨害行為や同検事総長への嫌がらせなどからサンドバル FECI 局長（※）の更迭を発表した。同日、サンドバル元局長は記者会見を行い、ジャマテイ政権幹部の関与があり得る複数の不正行為に対する捜査及びその結果の公表を避けるために自身の更迭が急がれたとの見解を示し、翌24日にエルサルバドルへ亡命した。

（※当館注：サンドバル局長はこれまで国内多数の汚職関係の捜査に関与し汚職を告発してきた人物。）

（２）サンドバル元 FECI 局長更迭に関するジャマテイ大統領の記者会見

27日、ジャマテイ大統領は記者会見を行い、サンドバル元局長が告発したジャマテイ政権の関与の可能性のある不正行為について明確に否定した。加えて、サンドバル元局長の更迭は検察庁の独立した問題であり、同更迭に関与していないことを強調した。

（３）ジャマテイ大統領及びポラス検事総長の辞任を求める抗議デモ

60以上に上る団体・政党・企業が抗議活動を呼びかけ、29日、国内60カ所以上の主要幹線道路や広場等でジャマテイ大統領及びポラス検事総長の辞任を求める抗議デモ及び道路封鎖が行われた。いずれも平和裏に実施され、道路封鎖は同日午後に解除されたが、検察庁前ではタイヤが燃やされるなどした。

2 内政（新型コロナウイルス関連）

（１）グアテマラの感染状況

検査実施数が少ない週末・祝日の一時的な低下を除き、7月初めは新規感染者数が2,500件程度であったが、月末に向け3,000～3,500件／日で推移、増加した。月末にかけ、アラート信号による規制レベル「赤」の市が更に増加し、7月26日～8月8日適応の規制では全340市中73%が「赤」となり、地方も含めたコロナ感染拡大が顕著となった。また、全国の病院のコロナ患者受け入れ状況は首都だけでなく地方の病院においてもほぼ満床状態であった。

(2)「アラート信号」システム

期間	赤	橙	黄	緑
6月28日～7月11日	217市	64市	59市	0市
7月12日～25日	226市	69市	45市	0市
7月26日～8月8日	250市	61市	29市	0市

注：2020年7月27日から開始された「アラート信号」システムに関する詳細は当館 HP (https://www.gt.emb-japan.go.jp/itpr_ja/border20200331.html) を参照。

(3) ワクチン接種登録

28日より35歳以上のワクチン接種登録が開始された。

(4) ワクチンの到着

ア 3日及び7日、ロシアからスプートニクV合計40万回分（購入）が到着した。

イ 8日、米国からモデルナ150万回分（供与）が到着した。

ウ 20日、米国からモデルナ300万回分（供与）が到着した。

エ 28日、スプートニクV10万回分（購入）が到着した。グアテマラが受領したスプートニクVは合計65万回分となった。

(5) 予防措置態勢の発出

14日、コロナウイルス感染状況の悪化及び変異株の感染拡大予防のため、ジャマティ大統領は予防措置態勢（15日間）を全国に発出した。公共の場でのソーシャル・ディスタンスを遵守しない集会の開催禁止、18時から翌朝6時までアルコール・類似飲料の飲酒・販売の禁止（レストラン含む）などの規制が敷かれた。

(6) 新規感染者数及び死者数の増加

27日、新規感染者数3,575件が検出され、1日の最多件数を更新した。また、死者数も増加傾向にあり、21日にこれまでの合計死者数が1万人を突破した。

(7) スプートニクVに関する契約の再締結

27日、ジャマティ大統領とフローレス保健大臣は記者会見を行い、ロシア直接投資基金とスプートニクVに関する契約を見直しの上締結し直し、本年中（2021年12月末まで）に800万回分（当初契約時は1,600万回分）の定期的な受領につき合意したと発表した。

4 外交

(1) 中米統合機構 (SICA) 議長国への就任

グアテマラ政府は6月24日のオンライン SICA 首脳会合においてコスタリカから議長国の座を引き継いだ(7月1日より半年間の任期)。

(2) 米務省による汚職関係者リスト「エンゲル・リスト」の公表

1日、米務省は中米北部3カ国(グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル)の汚職関係者を指摘する「エンゲル・リスト」を公表。同リストに掲載された55人のうち、20人がグアテマラ人であった。本リストにはグスタボ・アレホス(コロン元大統領私設秘書)やフェリペ・アレホス国会議員など、これまで既に汚職関係者として米国から指摘され制裁の対象となっている人物が掲載された一方、これまで指摘されていなかったメンデス反テロリズム財団代表、ドゥアルテ最高裁判所裁判官やバスケス憲法裁判所裁判官なども名を連ねた。

(3) マヨルカス米国土安全保障長官の当国訪問

6日、マヨルカス米国土安全保障長官が当国を訪問し、ジャマテイ大統領と会合を行った。両者は移民のメカニズムと移民保護のため、米国、メキシコ、グアテマラの関係強化の重要性に関し協議を行った。

(4) 茂木外務大臣の当国訪問

15日ー17日、茂木外務大臣は当国を訪問し、15日、ジャマテイ大統領表敬を行った。翌16日、プロロ外相と二国間会談を行い、その後、熱帯低気圧イータ及びイオタ被害復興支援に関する署名式を行った。また、同日午後には、日本・SICA 外相会合が開催された。

(5) 米政府による検察庁への支援凍結

サンドバル FECI 局長の更迭に関連し、当地米大使館はポラス検事総長や汚職との闘いにおける米政府との協力関係への信頼が失われたとして検察庁への支援を一時的に凍結すると発表した。

(6) サンドバル元 FECI 局長の更迭に関する国際社会の反応

ア 27日、国連事務総長報道官は、グアテマラ無処罰問題対策国際委員会(CICIG)が閉鎖されてから多くの優秀な検察官が国外退避を余儀なくされているグアテマラの状態についてグテーレス事務総長の懸念を表明した。

イ 30日、当地主要ドナー国グループG13のうち7カ国(ドイツ、カナダ、米国、フランス、英国、スウェーデン、スイス)の大使館が連名でコミュニケを発出し、同局長の更迭がグアテマラの法の支配に影響することを懸念し、司法・検察セクターの独立が尊重され、汚職・無処罰と闘う機関が保護されるよう要請した。

5 経済

◇主要経済指標◇	2021 年			2020 年	2019 年
	7 月	6 月	5 月		
インフレ率（前年同月比）	3.82%	3.91%	5.17%	3.21%	3.70%
貿易収支（百万ドル）	△1,093	△1,017	△1,071	△6,692.3	△8,710.9
輸出（百万ドル）	1,196.0	1,137.8	1,088.1	11,514.2	11,170.5
輸入（百万ドル）	2,289.4	2,154.8	2,160.0	18,206.5	19,881.4
外貨準備高（百万ドル）	19,167.1	18,748.8	18,929.7	18,468.2	14,789
外国からの送金（百万ドル）	1,354.3	1,362.5	1,236.7	11,340.4	10,508.3
為替レート（対ドル月平均）	7.75	7.74	7.71	7.72	7.69

（出典：中銀、国立統計院）